シティ読者が〝タカラヅカ〟を初観劇

迫力満点の舞台を体験！ 華麗なる夢のエンターテインメント

華やかで夢のある舞台が、多くのファンを魅了する「宝塚歌劇」。本拠地が関西にあるものの、実際に見たことがない人も多いのでは？　そんなシティ読者を代表して、川合順子さん（29歳）と藤谷直子さん（30歳）が、宝塚大劇場へ行ってきました。

華やかなフィナーレはタカラヅカならでは　©宝塚歌劇団

男役がカッコイイ！（川合さん）

豪華なステージに圧倒されそう（藤谷さん）

©宝塚歌劇団

迫力のオーケストラとゴージャスな内容に感激

〝タカラヅカ〟初観劇の、川合さんと藤谷さん。「興味はあったのですが、なかなか観劇するキッカケがなくて」と口を揃えます。

劇場では、夢の入り口にふさわしい、流麗な階段とシャンデリアが迎えてくれます。「オシャレをしてくれば、より観劇の気分が盛り上がりそう」と藤谷さん。

今回の観劇は、ミュージカルとショーの二本立て。ミュージカルを見終えた川合さんからは、「最初は、女性が男性を演じることに違和感があるかな？と思っていましたが、男役のしぐさも振る舞いも自然で、ストーリーに引き込まれ、楽しめました」という感想が。そして、「今回初めて、音楽が生オーケストラと知りました。このライブ感は迫力がありますね～」とも。

休憩の後は、ショーがスタート。歌と踊り、ゴージャスな衣装とスピーディーな場面展開が見所です。藤谷さんは「予想を裏切らない豪華さで、ラスベガスで見たショーを思い出しました。こんなきらびやかな舞台を、宝塚でも見られるなんて！」と感激した様子。

川合さんは、花・月・雪・星・宙と、宝塚歌劇に五つの組があることを知り、「それぞれのトップスターや、組の個性を見比べてみたいな」。藤谷さんも、「男性よりカッコイイ男役のしぐさに、ファンになる人の気持ちがわかりました。友人にも、一度見るようにすすめます」とニッコリ。タカラヅカの魅力に触れる、よい機会になったようです。

華やかなエントランスを前に、ここから〝観劇モード〟に

観劇だけなんて、もったいない！大劇場内をクルージング

宝塚大劇場の館内には、ミュージアムやレストランなど、観劇の合間に楽しめるスポットもスタンバイ。

よりタカラヅカを満喫するなら、衣装や小道具などを展示する「プチミュージアム」と、舞台衣装を着て写真が撮れる「ステージスタジオ」がオススメ。プチミュージアムで、トップスターが背負う羽根を間近で見た川合さんは、その迫力にビックリ。ステージスタジオの衣装ラインアップを見た藤谷さんも、「衣装の種類が豊富。あの舞台メイクを体験できるのも楽しそう」。

ランチやお茶なら、館内各所にあるレストランへ。中でも注目は、公演にちなんだメニューが登場する、レストラン「カフェテラス」。川合さんと藤谷さんからは、「ランチからタカラヅカ気分に浸れそう。食べてみたいよね」という声が。

観劇の後は、オリジナルグッズを扱う「キャトルレーヴ」をチェック。「このタオル、かわいい！」と、トップスターがデザインを監修したオリジナルグッズを川合さんが手に取れば、「せっかくだから観劇の記念に、スターの写真入りグッズもいいな」と藤谷さん。観劇以外にも、劇場での楽しみはつきません。

「プチミュージアム」「ステージスタジオ」

「プチミュージアム」（写真）には、実際に舞台で使われた衣装や小道具、デザイン画などが多数展示され、ビギナーも楽しめる内容が人気。入館料400円。「ステージスタジオ」では、タカラヅカの名作衣装を着てスター気分に（5250円～）。舞台メイクサービスのみ事前予約が必要。

「キャトルレーヴ」

ポーチやステーショナリー、アクセサリーなど、各組のトップスターが監修したアイテムは普段遣いに。ステージの空気いっぱいの公演グッズも、豊富に並びます。

レストラン「カフェテラス」

自然光がやさしいレストラン。上演中の作品イメージを取り入れたメニューは1500円～（写真はイメージ）。このほか館内には、和・洋のレストランや、喫茶・軽食のショップも。

■問い合わせ
宝塚歌劇インフォメーションセンター　☎0570(00)5100
（午前10時～午後5時、水曜休）
http://kageki.hankyu.co.jp/

宝塚NEWS　月組に新しいトップスター〝瀬奈じゅん〟誕生

月組の新トップスターとなった瀬奈じゅん。9月23日（祝・金）～10月31日（月）には、ホームグラウンドである宝塚大劇場で、トップ披露公演が行われます。上演作品は、ミュージカル・ファンタジー「JAZZY な妖精たち」と、グランド・レビュー「REVUE OF DREAMS」。アメリカを舞台に、アイルランド出身の若者が、妖精の力によって成長する姿を描いたファンタジックなミュージカルと、華やかな歌と踊りで、さまざまな夢が繰り広げられるダンシング・レビューは、タカラヅカ初心者にもオススメ。ぜひチェックしてみて！

©宝塚歌劇団